

PSE自主検査 絶縁耐力試験 手引き書

(例)電源電圧AC100Vの電気用品は、試験電圧AC1000V(1kV)を1分間加え、漏れ電流が10mA以上流れないことを確かめます。
試験中は高電圧が発生しますので、十分な準備と取り扱いに注意が必要です。
この手引き書は、試験作業実施に際しての参考にして下さい。
試験前には、試験器本体に付属の取扱説明書を必ずお読み下さい。

(1) 始めに

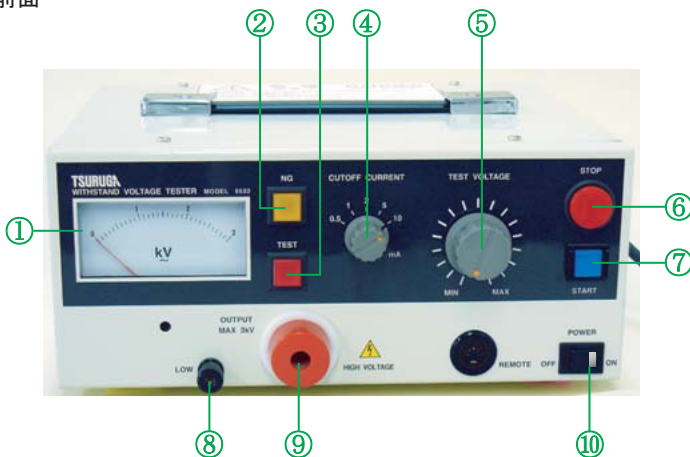
始めに、電気用品安全法の絶縁耐力試験に必要な機器・付属品等を準備します。



- 耐電圧試験器本体(8522) / ●電源コード / ●高圧側測定リード(赤色) / ●低圧側測定リード(黒色) / ●アース線(緑色) / ●高圧用ゴム手袋(別売) / ●被試験物用ACプラグ短絡治具(PSE2Pコネクタ 5880-27-001別売)
- 試験器と被試験物(絶縁耐力試験を行う電気用品)を置く絶縁板 (木製机のような絶縁物でも結構です)

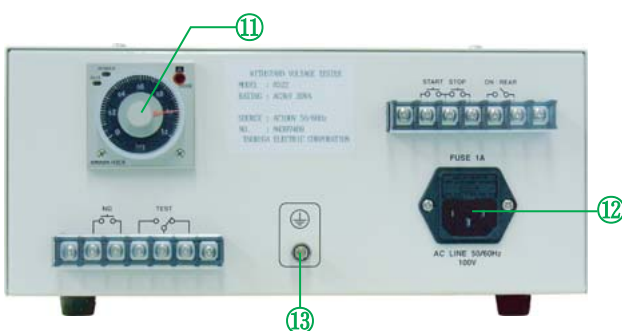
(2) 試験器本体の説明

前面



- ① 試験電圧を指示する電圧計です。
- ② NGランプ: 試験結果不良で点灯します。
- ③ TESTランプ: 試験中に点灯します。
- ④ 漏れ電流値を選ぶ漏れ電流設定つまみです。
- ⑤ 試験電圧を設定する試験電圧調整つまみです。
- ⑥ STOP: 試験の中断や終了の押しボタンです。
- ⑦ START: 試験開始の押しボタンです。
- ⑧ LOW: 試験電圧低圧側端子です。低圧側測定リード(黒色)を接続します。
- ⑨ HIGH VOLTAGE: 試験電圧高圧側端子です。高圧側測定リード(赤色)を接続します。
- ⑩ 試験器の電源スイッチです。

後面



- ⑪ 試験時間設定タイマーです。
- ⑫ 電源コード接続コネクタです。
- ⑬ 大地接地アース端子です。

(3) 試験開始前の準備 = 試験器側 =

試験を開始する前に、試験器本体に以下の準備をして下さい。

この試験器はAC100Vで動作しますので、供給される電源電圧がAC100Vであることを予めご確認下さい。

高圧用ゴム手袋を両手にはめます。

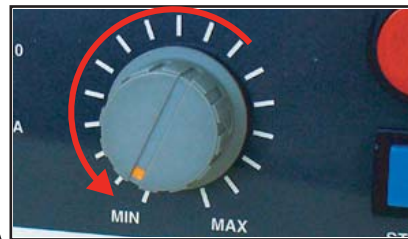


①電源スイッチ“OFF”



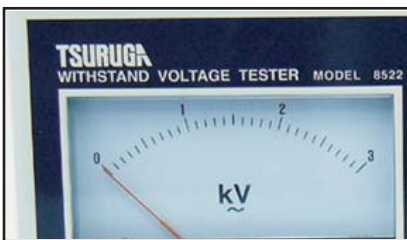
試験器の電源スイッチが**OFF**になっていることを確認します。

②電圧調節用ツマミの位置 確認



試験電圧調整用ツマミが反時計回りいっぱいまわされていることを確認します。

③電圧計の指示 確認



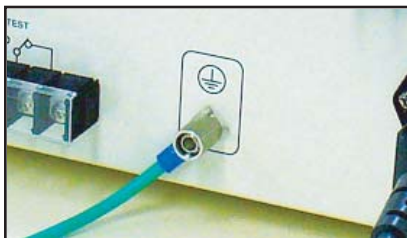
電圧計の指示が**ゼロ**に合っていることを確認します。

④電源コードの接続



電源コードを接続します。
必ず接地された3極電源コンセントに接続して下さい。

⑤アース線



アース線を大地に接地します。

注) ④または⑤で必ず大地に接地して下さい。

⑥漏れ電流検出値を選択 (例:10mA)



被試験物の試験条件に応じた漏れ電流検出値を選択します。

⑦試験時間の設定 (例:約70秒)



試験器裏面にあるタイマーで試験時間を設定します。

試験時間は60秒ですが、試験電圧調整の為、約10秒長くします。
項目(5)の③注)参照

⑧低圧側 測定リード線(黒色)の接続



低圧側測定リード線(黒色)をLOW端子に接続します。

必ず、抜け止め金具をLOW端子に確実に固定して下さい。

(試験中に低圧側測定リード線が外れると危険です)

⑨高圧側 測定リード線(赤色)の接続



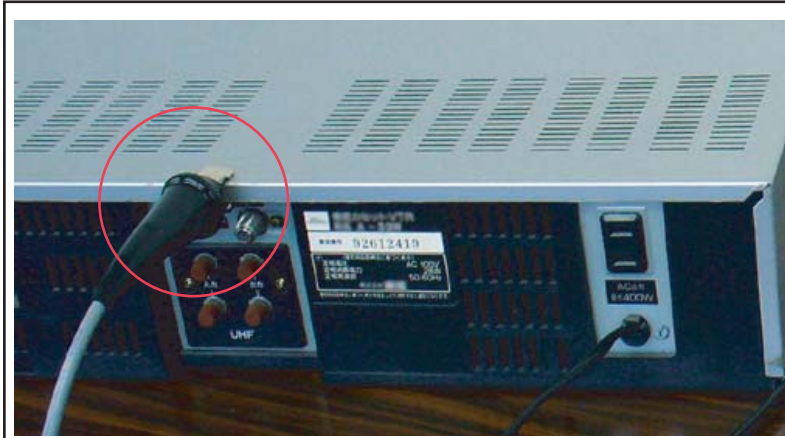
高圧側測定リード線(赤色)をHIGH VOLTAGE端子に接続して下さい。

(4) 試験開始前の準備 = 被試験物(電気用品)の接続 =

試験を開始する前に、被試験物を以下の通りに接続して下さい。

①被試験物の電源スイッチを“ON”して下さい。

②本体金属部分に低圧側測定リード線(黒色)を接続



被試験物(電気用品)の**本体金属部分**に低圧側測定リード線(黒色)を接続します。

被試験物にアース端子がある場合は、低圧側測定リード線(黒色)をアース端子に接続して下さい。

③電源プラグに高圧側測定リード線(赤)を接続



高圧側測定リード線(赤色)は、被試験物の電源プラグ電極を一括にして接続します。

二つの電極を導線で短絡したり、ACプラグ短絡治具を使用します。



ACプラグ短絡用治具

④待機状態



これで試験前の待機状態となります。

(5) 試験の開始

試験の開始～「良」「不良」判定



試験中は出力端子、高圧測定リード、被試験物には絶対手を触れないで下さい。
常に細心の注意を払い安全を確認の上ご使用下さい。

①電源スイッチ“ON”



試験器の電源スイッチをONします。

②STARTスイッチ“ON”



STARTスイッチを押します。

TESTランプが点灯し、試験が開始されます。

③試験電圧調整 (例: 1kV=1000V)



電圧計の指示が試験電圧値に達するまで試験電圧調整ツマミを時計回りにまわします。

注) 試験電圧値を超えないように、ツマミをゆっくりまわして下さい。
この手引き書では、試験電圧調整の時間を約10秒間としています。

良

不良

ブーッ!



試験結果が「良」の場合は、
タイマーのタイムアップで試験が終了し、
TESTランプが消灯します。



試験結果が「不良」の場合は、
試験が中断されてNGランプが点灯し、ブザー音が鳴ります。

「不良」判定の時は、STOPスイッチを押して、
試験器を試験前の状態に戻します。

(6) 試験終了

- 試験が終了したら、試験電圧調整用ツマミを反時計回りにいっぱいまわし、電源スイッチをOFFして下さい。
高圧ゴム手袋をはめたまま、被試験物から高圧側(赤色)、低圧側(黒色)の順で測定リード線を外します。
- 試験を続けるときは、試験器が待機状態であることを確認後、繰り返し操作して下さい。
- 試験を終え、試験器を保管するときは、試験器の電源スイッチがOFFになっていることと、試験電圧調整ツマミが反時計回りいっぱいまわされていることを確認して下さい。

計測器からシステムアップまで、信頼のトータルサポート
TSURUGA 鶴賀電機株式会社

PSE自主検査 絶縁耐力試験 手引き書に関する お問い合わせ先
TEL : 06-6692-7272

ホームページ URL <http://www.tsuruga.co.jp/>